

【2023年度】放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		活動スペースを十分に取り、児童が思いっきり体を動かせるようにしている。また、中央で仕切り、静の遊びと動の遊びを分けるように工夫している。	おやつなどの時間は活動室を半分に仕切っています。
	2 職員の配置数は適切である	○		支援の質を確保できるように、職員を配置しています。	反射板などを利用して、死角をなくすように心掛けています。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		活動室の段差をなくし、やむを得ず段差のある所には、への字抑えなどを利用し段差をなくすようにしています。	活動室の段差や配線などに引っかからないように工夫しています。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		毎日の朝礼や打ち合わせ仕事終わりなどに、全職員に周知し都度目標と改善を話し合っています。	どんな些細な事でも、気づいた事は話し合いを行っています。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		アンケート調査を実施し、業務の振り返りを行っています。	職員全員でアンケート調査をもとに話し合いを行っています。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		アンケート調査の結果をホームページにて公開しています。	ホームページにて公開しています。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	第三者による外部評価は行っていませんが、各事業所評価は行っています。	事業所内で評価に基づいての話し合いを行っています。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		社内研修の実施や外部研修などに積極的に参加をし、質の向上に努めています。	職員全員に周知し、色々な研修に参加して行きます。
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		契約時や定期的な面談の中で、ニーズを聞き取り、個別支援計画に反映させています。	職員全員で話し合いを行い、個別支援計画を作成していきます。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		アセスメントシートを使用し児童の情報把握に努めています。【Vineland-II】などのツールを利用しています。	児童たちについての話し合いを行っています。
11 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		定期的にスタッフで話し合いを行い、活動の案を検討しています。	日々の業務の中で感じた事や思ったことを発言していく。	
12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		児童一人一人の興味や特性に応じて活動内容を変更したり、使用する遊具や学習ツールを検討しています。	日々の業務の中で感じた事や思ったことを発言していく。	

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		長期休みに関して、普段では行わない活動や取り組みを行っています。	職員で話し合いを行い、今までにはなかった取り組みを提案しています。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		集団活動への参加を軸に個別の活動にも触れ、計画を作成しています。	職員同士の話し合いの時間を多く作っていきます。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		始業前に朝礼を行い、その日の打ち合わせを行っています。	打ち合わせ時にスタッフから色々な意見を出してもらうようにしていきます。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		終業時に終礼を行い、その日あった事や気づいたこと、些細な事であっても報告し合っています。	職員、一人一つは発言して頂くようにしていきます。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		活動終了後、個人の記録を行い、共有を図っています。	日々の業務の中で起こった事は職員一人一人がしっかりと記録を取る事を心掛けていきます。
関係機関や保護者との連携	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		児童のモニタリング会議を開催し、目標の達成度、計画の見直しの検討を行っています。	職員全員と話し合いの時間を設けて、しっかりと個別支援計画の見直しを行っています。
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	○		基本活動を複数組み合わせ支援を行っています。	
	20 障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している		○	その時の時間帯に応じて参加できる職員が参加しています。	今後、ふさわしい職員が参加できるように心掛けていきたいです。
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		学校と連絡を取り合ったり、お迎えの際に下校時間の確認など行っています。また、トラブル発生時の対応もスムーズに行えるようにしています。	お迎えに行った職員が学校側に声掛けをおこなうようにしていきます。
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○	現在は必要な児童がいません	
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		就学前に関係者が集まり会議の時間を設けるなどし、話し合いを行っています。	事業所内で話し合いを行い、結果を支援事業所などにおろしています。
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○	会議を開くなどはしていませんが、口頭で伝える事は行っています。	今後は取り組んで行きます。

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	25		○	助言や研修を受けるようなスーパーバイザーとしての連携は行っていません。	センター主催の研修会などへの参加を積極的に行っています。
	26	○		放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	今後は積極的に交流のばを設けていきます。
	27	○		(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	イベントの参加など、積極的に足を運び交流を深めていきたいと考えています。
	28	○		日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	職員一人一人が保護者様との関係性を築いていくようにしていきます。
	29		○	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	児童の対応に関する助言や情報共有に力を入れていきます。
保護者への説明責任等	30	○		運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	必ず同意を得るようにしています。
	31	○		保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	保護者様との関係性を築くために、積極的に入って行きたいと思っています。
	32	○		父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	事業所で保護者カフェをもっともっと開催したいと思います。
	33	○		子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	スピーディーに適切な対応が取れるようにしています。
	34	○		定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	保護者様に対してもホームページやブログを見て頂くように声掛けを行っています。
	35	○		個人情報に十分注意している	個人情報については事業所内のみで見えるよう、職員全員に周知し、声掛けを行っています。
	36	○		障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	子どもたちが理解しやすいよう心掛けています。

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	改善内容又は改善目標
非常時等の対応	37		○	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	今後はどんどん地域住民を招待しての取り組みを行っていきたいと思います。
	38	○		緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	緊急マニュアルを定期的に職員が目を通すようにしています。
	39	○		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	消防車立会いのもと、定期的な消防訓練を行い、また、消防学習なども併せて行っています。
	40	○		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	定期的に社内での虐待防止研修を開催しています。
	41	○		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	身体拘束に関する説明を保護者様に行っています。必要な児童については個別支援計画に記載しています。
	42	○		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	食物アレルギーに対して保護者様に聞き取りを行い、その都度確認を行いながら、取り除くなどの対応をしています。
	43	○		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	二度と同じ失敗を起こさないように周知し目を通しています。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。